

# SDGsクイズ

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 飢餓をゼロに 	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>12</b> つくる責任つかう責任 
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさも守ろう 	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 	



正解は 牛乳パック1本分

1 貧困をなくそう



世界には国際貧困ラインと呼ばれる1日1.9ドル以下(約200円)での生活を強いられている人が約10人に1人の割合でいます。1.9ドルには、衣食住や薬など生きていく上で必要なものがすべて含まれます。



● 消費者品商(製食)製品を扱う

正解は 9人



穀物は、世界中の人が食べられるほどの生産がされているのに収穫効率の悪さ、輸送・貯蔵などが要因になって十分な食事ができない人々があります。

また日本では、国民1人がおむすび1個分のまだ食べられる食品を毎日ゴミとして捨てています

正解は 蚊

3 すべての人に  
健康と福祉を

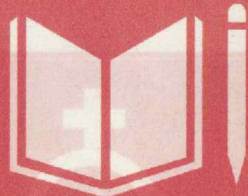


蚊はマラリア、デング熱などを媒介します。  
両方治療することができますが、マラリアでは年間2億人が感染し  
約43万人(推計)が亡くなります。それは十分な治療が受けられな  
いことが原因だと考えられます。



正解は サハラ以南のアフリカ

4 質の高い教育を  
みんなに



日本では小学校、中学校と当たり前前に教育を受けることができますが、「小学校に通えない子どものうち、半数以上の3,400万人がサハラ以南のアフリカの子どもたちです。」  
「子どもが教育を受ける期間が1年延びるごとに、彼らがおとなになってからの収入が10パーセント増加します。」



正解は 3人に1人

5

4 質の高い教育を  
みんなに



現在のサハラ以南のアフリカでの子どもの花嫁は25年前と比べて増えています。児童婚により「学校教育を修了する可能性は減少し、家庭内で暴力を受ける可能性が高まります。」  
また「10代の女の子は20代の女性よりも妊娠中および出産時の合併症で命を落とす可能性が高いです。」



● 持続可能な開発目標

正解は 1分に1人



水は生きていく上で欠かせないものですが、世界の人口の29% (約3人に1人)は安全に管理された水を飲むことができません。1分に1人の新生児、2分に1人の5才以下の子どもが感染症で命を落としています。



● 50%

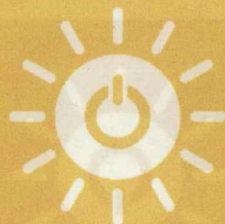
● 32%

● 24%

正解は

正解は 20%

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



20%

日本の再生可能エネルギーでの発電は、まだ18%です。  
太陽光や風力は燃料費がかからない代わりに、工事費用や発電  
システムの導入に費用がかさみます。  
また天候などによって発電量が左右されるので安定した供給が難  
しいためなかなか導入が進まないのかもしれませんが。



## 正解は ガーナ

8 働きがいも  
経済成長も



日本の約7割を占めるカカオ豆の輸入先であるガーナでは、およそ5人に1人の子どもが児童労働を強いられています。多くのカカオ豆を輸入している日本もこの問題と無関係とは言えないでしょう。



約40%

約50%

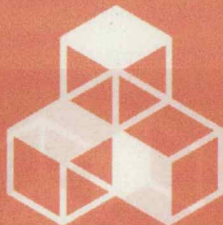
約10%

正解は

正解は 約40%

9

産業と技術革新の  
基盤をつくろう

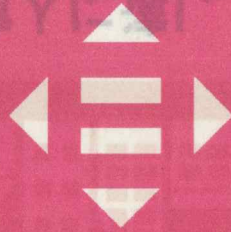


世界では約26億人が不安定な電力の中で生活し、約8億人が安定した水資源を得られない状態にあります。安定した安全な生活をおくることにより、企業の生産性もあがります。産業の発展のための基盤となる、水道・電気・インターネットの整備は不可欠です。



正解は 36億人

10 人や国の不平等  
をなくそう



世界で最も裕福なたった8人が世界の半分のお金を持っています。貧富の格差も不平等の一つですが、不平等を減らすことにより、貧困や飢え、争いごとをなくし世界中の人々の幸せに繋がります。



● ほぼ変わらない

● 約5倍

正解は

● 約2倍 正解は 約5倍

2010年からは、1970年と比較して約5倍に増加している。これは、自然災害の発生件数の増加による避難や移住の増加を示している。

約5倍



「過去40年にわたって、人びとが避難や移住をしなければならなくなるような自然災害の発生件数が大きく増えています。」「頻発する干ばつ、砂漠化、スーパー台風、豪雨など、増加している災害は、やむなく移動を強いられる人、食糧危機にさらされる人が増える原因にもなっています。」



● 持続可能な開発目標、資源を大切に

正解は **賞味期限**



賞味期限は色やにおい、味などをチェックして異常がなければまだ食べることができます。表示の期限が過ぎたからといって安易に捨ててしまうのはもったいないかもしれません。



● 暖房から

● 自動車から

正解は

正解は **照明・家電製品などから**

13 気候変動に  
具体的な対策を



家庭からの二酸化炭素排出量で32.7%は照明・家電製品などから  
です。排出量を減らすには、例えば主電源を切る、使わない時は  
コンセントを抜く、それだけで年間約60kgの二酸化炭素削減、また  
年間約3400円の節約にもなります。



## 正解は 約半分

14 海の豊かさを  
守ろう



世界の29%の種類の海洋生物は持続的に維持できないほどに獲られ過ぎ、61%の種類はもうすぐ限界です。  
また1970年代から比べると海洋生物は、当時の49%の量しかいません。



正解は

正解は 全部

正解



1970年代から2000年代の間に平均4万種の生き物が絶滅したと言われています。原因は環境の変化や乱獲などが考えられますが、将来的にはさらに現在の10倍もの速さで絶滅が進むとも予測されます。



● 商品の企業への訴求、消費者の関心、競争の激化、消費者の関心、消費者の関心

◆ 消費者の関心、消費者の関心

正解は 2秒に1人



16 平和と公正を  
すべての人に

2019年、世界で紛争などで「故郷を追われた人」の数は過去最多の7950万人です。

あらゆる争いをなくし、平和を実現するためにも、法律など公正な制度を利用できることが大切です。



正解は

正解は 世界中のすべての人が協力すること

SDGsの目標を達成するには、私たち一人一人がその一つ一つの問題に興味を持ち、できることからコツコツと対策に参加していく必要があります。消費者という視点からはやはり買い物をする時に責任を持って商品・サービスを選びたいものですね。



SDGsの目標を達成するには、私たち一人一人がその一つ一つの問題に興味を持ち、できることからコツコツと対策に参加していく必要があります。消費者という視点からはやはり買い物をする時に責任を持って商品・サービスを選びたいものですね。